

2009年4月27日

財団法人 直島福武美術館財団

地中美術館 開館5周年記念

クロード・モネ「睡蓮」新収蔵 初公開

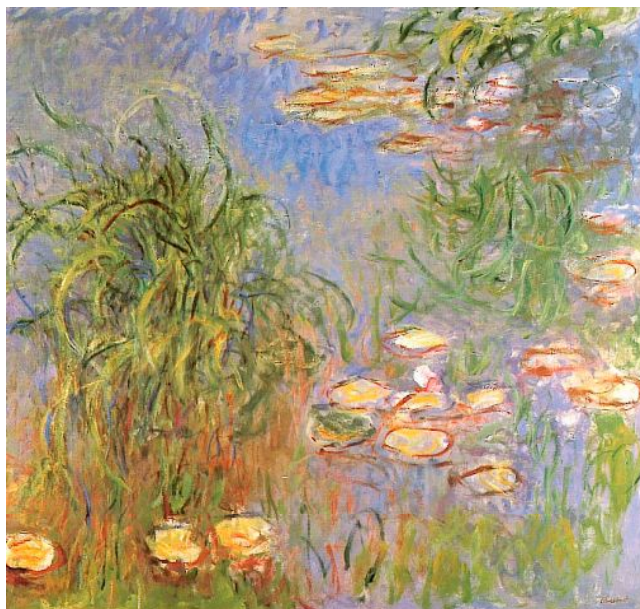
プレスレビューのお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当財団が運営する地中美術館は、2004年7月18日の開館より、本年で5年目を迎えます。その記念すべき年に、日本では初の公開となるクロード・モネ「睡蓮 - 草の茂み」(1914-1917)を収蔵することが叶い、当館の「クロード・モネ室」に恒久設置し、2009年5月31日(日)より一般公開する運びとなりました。

なお、新収蔵作品の公開にあたり、5月30日(土)現地にて、プレスレビューを行います。ご出席いただける場合は3ページ目をご覧くださいの上、別紙の用紙にて予めお申し込みをお願い申し上げます。ご多忙のところ恐縮に存じますが、ご取材を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1. モネ 新収蔵作品について

地中美術館の「クロード・モネ室」はモネが最晩年に構想した展示プランをもとに設計しています。角のない壁、自然光の間接照明、大理石や漆喰を使った白の演出など、随所にモネのアイデアが再現され、季節や時間帯によって空間の表情が刻々と変化します。この度新たに公開される作品は、既存の4点と同様、オランジュリー美術館の大装飾画(グランド・デコレーション)に代表されるモネの最晩年の「睡蓮」シリーズに属する作品です。



- タイトル：「睡蓮 - 草の茂み」
(Water Lilies, Cluster of Grass)
- 制作者：クロード・モネ(Claude Monet)
- 制作年：1914-1917年
- 技法：油彩
- サイズ：200cm x 213cm
- 一般公開予定日：2009年5月31日

2. 参考資料

クロード・モネ略歴

1840年パリに生まれる。1926年ジヴェルニーの自宅で86歳の生涯を終える。

代表作：「印象：日の出」のほか、「積み藁」、「ルーアン大聖堂」。1883年に移り住んだジヴェルニーに“水の庭園”と呼んだ睡蓮の池とそれを囲む庭を自ら造園し、それをモチーフに生涯描き続けた。1927年5月17日、「睡蓮」を展示するオランジュリー美術館が公開される。

地中美術館「クロード・モネ室」について



地中のスペースでありながら、自然光のみでモネの絵画5点を鑑賞することができます。部屋のサイズ、デザイン、素材は、モネの絵と空間を一体にするために選定されました。

高い精度で壁と一体につくられたガラスケースは、海に近い当美術館の環境やコンクリートのもつアルカリ分などを考慮し、採用されました。ケース内の空気は、温湿度や成分がコントロールされています。作品を長期間良い状態で保管、公開していきたいと考えています。

※写真は展示替え以前のもの

新収蔵作品設置にともなう臨時休館日について

*モネの新収蔵作品の展示にともなう工事のため、地中美術館では2009年5月18日(月)～25日(月)、および30日(土)は臨時休館いたします。

*5月26日(火)～29日(金)はクロード・モネ室のみ閉鎖します。ほかスペースはご覧いただけます。ご了承ください。

*モネの新収蔵作品の一般への公開は5月31日(日)を予定しています。ご期待ください。

このリリースに関する取材のお申し込み・お問い合わせ

財団法人 直島福武美術館財団 広報担当 金廣(かなひろ)、千種(ちぐさ)

〒761-3110 香川県香川郡直島町850-2

TEL：087-892-2550、FAX：087-892-4466

E-mail：kanahiro@fukutake-artmuseum.jp

3. プレスプレビューについて

下記のスケジュールにて、モネ「睡蓮 - 草の茂み」のプレスプレビューを行います。ぜひご取材賜りますよう、お願い申し上げます。なお当日は地中美術館館長の福武総一郎、またモネに造詣の深い三菱一号館美術館 開設準備室 主任学芸員の安井裕雄氏が参加いたします。

なお、作品と展示室の性格上、ご覧いただける人数に限りがございますため、予め別紙にて参加のお申し込みをお願い申し上げます。

記

日時	2009年5月30日(土) 12:30～
場所	地中美術館 (香川県直島町 3449-1)
対象作品	モネ「睡蓮 - 草の茂み」(1914-1917)
スケジュール	<p><u>行き</u></p> <p>11:45 直島宮ノ浦港集合。送迎バスにて地中美術館へ</p> <p><u>①12:00-13:00</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地中美術館チケットセンターにて受付、館内へ移動 ・「クロード・モネ室」プレスプレビュー <p>※「クロード・モネ室」に限り、フラッシュなしで撮影いただけます。</p> <p>※ 展示室の広さの都合上、撮影と鑑賞は入れ替え制となります。</p> <p>※「クロード・モネ室」以外のスペースもご鑑賞いただけます (地中カフェをのぞきます)。</p> <p><u>②13:10-13:30</u></p> <p>記者会見 地中美術館館長：福武総一郎 三菱一号館美術館 開設準備室 主任学芸員：安井裕雄氏</p> <p><u>お帰り</u></p> <p>13:45 地中美術館から送迎バスにて宮ノ浦港へ (フェリー：高松行き 14:20 発、宇野行き 14:55 発)</p>
お問い合わせ先	<p>別紙にてお申し込みをお願いいたします。</p> <p>財団法人 直島福武美術館財団(金廣、千種)</p> <p>FAX 087-892-4466</p>

財団法人 直島福武美術館財団
Naoshima Fukutake Art Museum Foundation

FAX 返信先：087-892-4466(直島福武美術館財 広報担当：金廣、千種宛)

モネ 新収蔵作品 プレスレビュー参加お申し込み書

◆いずれかに印をつけていただき、恐れ入りますが5月16日(土)までにFAXでご返信ください。

出席します

欠席します

お名前：	
媒体名：	
ご所属：	
郵便番号/ご住所：	
電話：	FAX：
E-mail：	
◆送迎バスのご利用の有無についてご回答ください。	
行き	11:45 宮浦港発→地中美術館 <input type="checkbox"/> 利用します <input type="checkbox"/> 利用しません
帰り	13:45 地中美術館→宮ノ浦港 <input type="checkbox"/> 利用します <input type="checkbox"/> 利用しません

個人情報の利用目的：ご記入いただく個人情報は、財団法人 直島福武美術館財団における「モネ 新収蔵作品プレスレビュー」の実施およびそれに関連するご連絡のために利用するほか、直島福武美術館財団のプレスリリースを、当財団、また取材申し込み・問い合わせ窓口代行からご案内する際、利用することがあります。

上記を確認の上、ご承諾いただける方はご記入ください。